

## 平成 21 年度 事 業 報 告

(2009 年 4 月 1 日～2010 年 3 月 31 日)

本年度における会員現況と主な事業内容を以下項目別に報告する。

## 1. 会 員 現 況

会員種別	平成 21 年度			参 考	
	2009. 4. 1 現在数 (A)	2010. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)	2009. 3. 31 現在数 (C)	前年度末 との対比 (B-C)
名誉会員	17	18	1	17	1
終身会員	99	96	△3	96	0
正 会 員	3,367	3,316	△51	3,337	△21
学生会員	833	785	△48	839	△54
賛助会員	203 社 (333 口)	195 社 (296 口)	△8 社 (△37 口)	203 社 (333 口)	△8 社 (△37 口)
特殊会員	102 社 (115 口)	101 社 (115 口)	△1 社 (0 口)	102 社 (115 口)	△1 社 (0 口)

## 2. 定款・規則等の制定・改正

- |                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| (1) 選奨規則の改正                   | (2009. 4. 28)  |
| (2) 技術開発賞候補者選定手続の制定           | (2009. 4. 28)  |
| (3) 環境音響研究賞受賞候補者選定手続の制定       | (2009. 4. 28)  |
| (4) 国際会議準備金貸付基準の改正            | (2009. 6. 25)  |
| (5) 学術委員会規則の改正                | (2009. 6. 25)  |
| (6) 東北支部規則の改正                 | (2009. 6. 25)  |
| (7) 北陸支部規則の改正                 | (2009. 6. 25)  |
| (8) 関西支部規則の改正                 | (2009. 10. 16) |
| (9) 学生優秀発表賞規則の制定              | (2009. 12. 16) |
| (10) " 受賞予定者選定手続の制定           | (2009. 12. 16) |
| (11) 選奨規則の改正                  | (2009. 12. 16) |
| (12) 佐藤論文賞受賞予定論文選定手続の改正       | (2009. 12. 16) |
| (13) 功績賞受賞予定者選定手続の改正          | (2009. 12. 16) |
| (14) 栗屋潔学術奨励賞受賞予定者選定手続の改正     | (2009. 12. 16) |
| (15) 技術開発賞受賞予定者選定手続の改正        | (2009. 12. 16) |
| (16) 独創研究奨励賞 板倉記念受賞予定者選定手続の改正 | (2009. 12. 16) |
| (17) 環境音響研究賞受賞予定者選定手続の改正      | (2009. 12. 16) |
| (18) 事務処理規則の制定                | (2009. 12. 16) |
| (19) 国際会議積立基金に関する規則の制定        | (2010. 1. 21)  |
| (20) 学生優秀発表賞規則の改正             | (2010. 1. 21)  |

## 3. 機 関 誌 の 刊 行

- (1) 日本音響学会誌  
本期間は毎月 1 日 (1 号は 12 月 25 日) を発行日とし、次の 12 冊を刊行した。

65 巻 4 号～66 巻 3 号 (2009 年 4 月～2010 年 3 月)

	巻		65 巻								66 巻			計	
	号		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3
	本文ページ		70	66	38	34	84	50	44	50	38	44	52	58	628
主な論文・記事	巻頭言				2							2			4
	音叉		2			2			2						6
	論文		8 (1)	23 (2)	8 (1)	7 (1)	10 (1)	16 (2)	18 (2)	8 (1)	8 (1)	9 (1)	20 (2)	8 (1)	143 (16)
	技術報告													7 (1)	7 (1)
	寄書				3										3
	技術プラザ														0
	特別講演						6 (1)						7 (1)		13 (2)
	解説 (小特集を含む)		54 (1)	38 (7)	19 (3)	20 (3)	18 (3)	28 (5)	19 (3)	36 (7)	18 (3)	29 (7)	19 (3)	35 (7)	334 (52)
	会議報告 (シンポジウム報告)										2 (1)				2 (1)
	連載企画		1 (1)		1 (1)		1 (1)		1 (1)		1 (1)		1 (1)		6 (6)
主な論文・記事	研究発表会報告						1					1		2	
	選奨記事・紹介記事						11								11
	総会記事						10								10
	書評								1					1	2
	研究会発表論文一覧						23								23
	博士論文紹介				1						1				2
	コーヒーブレイク		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	65 巻総目次										3				3
	学会記事等		2	2	1	2	1	3		3	2	1	1	3	21
	投稿規定											17			17
編集後記		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
会告		9	31	19	18	15	57	21	28	21	17	57	13	301	
広告		9	9	9	11	9	9	9	9	9	9	7	7	106	
発行部数		5300	5300	5100	5100	5050	5050	5050	5050	5050	5050	5050	5050		
小特集タイトル		※1	※2				※3		※4		※5		※6		

注 1) 欄中の ( ) 内数値は編数。

2) 会告の内容は、研究会開催案内、音響関係国内並びに国際会議、その他周知記事である。

※1 道路交通騒音の予測モデル

2 大学における音響教育の現状

3 物理モデルによる楽器音の合成

4 室内音響における拡散研究の最新の動向

5 自動音声認識研究の動向と展望

6 最新の超音波モータの研究とその動向

(2) 英文論文誌 Acoustical Science and Technology

本期間は、2009 年 5 月、7 月、9 月、11 月、2010 年 1 月、3 月の各 1 日を発行日とし次の 6 冊を刊行した。

Vol. 30 No. 3～Vol. 31 No. 2 (2009 年 5 月～2010 年 3 月)

Vol.	Vol. 30				Vol. 31		計
	No.	3	4	5	6	1	
本文ページ	66	90	78	68	114	90	506

主 な 論 文 ・ 記 事	Paper	55 (6)	48 (5)	46 (5)	44 (5)	31 (3)	52 (6)	276 (30)
	Technical Report		17 (2)	9 (1)		26 (3)		52 (6)
	Acoustical Letter	8 (2)	7 (2)	21 (6)	13 (4)		21 (6)	70 (20)
	Foreword					1 (1)		1 (1)
	Invited Review		13 (1)			54 (1)	9 (1)	76 (8)
	Report from Research Committee						5 (1)	5 (1)
	Short Note		1 (1)					1 (1)
	和文誌英文目次	2	2	1	3	1	2	11
	和文誌論文等内容梗概	1	2	1	1	1	1	7
	Vol. 30 総目次				7			7
発行部数		5050	5050	5000	5000	5000	5000	
小特集タイトル						※1		

注) 欄中の ( ) 内数値は編数。

※1 Special issue on road traffic noise prediction methods.

(3) 科学技術振興機構が主催する電子ジャーナル共同利用センター (J-STAGE) のサイト (URL <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ast/-char/en>) で、引き続き Acoustical Science and Technology 誌 (AST 誌) を公開した。

#### 4. 研究発表会の開催

(1) 春季研究発表会は、2009年3月17日、18日、19日の3日間、東京工業大学大岡山キャンパスを会場として開催した。参加者実数は、1374名である。

なお、学生並びに新たに研究発表会に参加した方を対象とするビギナーズセミナー及び新人盛会を開催した。

スペシャルセッションは、5件、「機械学習による音声処理技術の新展開」、「道路交通騒音の予測方法 “ASJ RTN-Model 2008”」、「室内音響における新しい話題とその展望」、「時間軸を考慮した音の可視化」、「歩み寄る音像定位と音場再生」で実施した。

(2) 秋季研究発表会は、2009年9月15日、16日、17日の3日間、日本大学工学部郡山キャンパスを会場として開催した。参加者実数は、998名である。

なお、学生並びに新たに研究発表会に参加した方を対象とするビギナーズセミナーを開催した。

スペシャルセッションは、7件、「音声分析法の課題と展開」、「音声に含まれる非言語・パラ言語情報の知覚機構を探る」、「創作の教育はできるのか?」、「実環境下での音声聴取とその評価」、「熱音響現象の理解とその応用展開」、「音響空間のリアリティ」、「光学手法による音・振動計測の新展開」で実施した。

(3) ポスター賞は、春季研究発表会は5件、秋季研究発表会は5件を選定し贈呈した。

(4) 春季並びに秋季の発表分野、講演件数及び特別講演は次表のとおりである。

分 野 別		春 季	秋 季
講 演	音 声 A	108	85
	音 声 B	87	83
	聴覚/聴覚・音声	45	63
	電 気 音 響	90	84
	音 楽 音 響	24	29
	騒 音 ・ 振 動	52	27

件 数	建 築 音 響	45	69
	超音波/水中音響	87	65
	アコースティック・イメージング	17	11
	音 響 教 育	9	5
	音支援（音バリアフリー）	9	10
	分野横断SS[音像定位]	23	
	分野横断SS[AI]	6	
	SS[熱音響技術]		8
	SS[音空間のリアリティ]		15
	SS[光学手法による音・振動]		8
計		602	562

特別 講演	演 題	バイオインフォマティクスの最新動向－生物情報解析と音響学の隠れたハーモニー－	超音波によるHaptic技術の開発と次世代医療機器への応用－我が国の医療機器産業創出を目指して－
	講 師	東京工業大学教授 秋山 泰 氏	日本大学教授 尾股定夫 氏

## 5. 研究会の開催

(1) 本年度に実施した各研究会の活動概要は次表のとおりである。

研究会名	委員長 (敬称略)	開催回数	発表件数	備考
超 音 波	山田 晃	11	121	アコースティックイメージング、音響化学研究会との合同開催の分を含む
騒音・振動	加来 治郎	10	67	アコースティックイメージング研究会、音響教育調査研究委員会との合同開催分を含む。
電 気 音 響	浅野 太	9	121	音声、音楽音響、聴覚研究会との合同開催の分を含む
音 声	有木 康雄	9	203	電気音響、聴覚研究会、音響教育調査研究委員会との合同開催の分を含む
聴 覚	相川 清明	9	124	音声、電気音響、音楽音響研究会との合同開催の分を含む
建 築 音 響	佐藤 史明	10	56	音楽音響研究会との合同開催の分を含む
音 楽 音 響	柳田 益造	8	89	聴覚、建築音響、電気音響研究会との合同開催の分を含む
音 響 化 学	酒井 啓司	1	18	音波の物性と化学討論会（超音波研究会と共催）
アコースティック イメージング	秋山いわき	4	31	超音波、騒音・振動研究会との合同開催の分を含む
合 計		71	830	

(2) 騒音・振動、聴覚、建築音響及び音楽音響研究会資料の年間購読の請求事務は学会事務局で実施した。

## 6. 国際交流

(1) 国際会議の開催・準備等

ア. 2009年11月9日から13日までの間、IEC/TC29東京会議を、(社)日本騒音制御工学会、(独)産業技術総合研究所と共催して開催した。参加状況は、15カ国、65名であった。

イ. 2011年9月4日から7日までの間、大阪国際会議場（大阪市）で共催する第40回国際騒音制御工学会議（INTER-NOISE 2011）の準備等に協力した。

(2) 当学会が会員となっている国際音響学会(ICA), 国際騒音制御工学会(I-INCE)の総会等に出席し, その活動に協力した。また, 西太平洋地区音響学会(WESPAC)に協力した。

## 7. 音響規格の調査・作成

- (1) 当学会で原案作成を行った日本工業規格(JIS)に関して5年ごとの見直し作業を行った。
- (2) 音響に関する国際規格(ISO/TC 43, 同/SC1, 同/SC2 及び IEC/TC29 関係)の審議を日本規格協会から委託され, それぞれの専門委員会(橋 秀樹委員長[ISO], 佐藤宗純委員長[IEC])において審議し, 結果をとりまとめて報告した。

## 8. 調査研究委員会の活動

- (1) 道路交通騒音予測手法の調査研究  
オリエンタルコンサルタンツから「道路交通騒音の予測手法及び対策手法の検討」受託, 道路交通騒音調査研究委員会(山本貢平委員長)が作業を実施し, その成果を委託者に報告した。また, 日本音響学会誌 65 巻 4 号(平成 21 年 4 月発行)において, 「道路交通騒音の予測方法 “ASJ RTN-Model 2008”」を公表した。2009 年春季研究発表会において, 「道路交通騒音の予測方法 “ASJ RTN-Model 2008”」をテーマとするスペシャルセッションを実施した。
- (2) 音響教育に関する調査研究  
音響教育調査研究委員会(荒井隆行委員長)において, 音響教育に関する現状の調査研究及び将来の音響教育のあり方等について審議を行った。
- (3) 音バリアフリーに関する調査研究  
音バリアフリー調査研究委員会(上羽貞行委員長)において, 聴覚障害者のための会話システムの研究, デバイスの研究・開発・実用化及び普及を目的とした活動を行った。また, 2009 年秋季研究発表会において, 「実環境下での音声聴取とその評価」をテーマとするスペシャルセッションを実施した。
- (4) 超音波暴露に関する調査研究  
超音波暴露調査研究委員会(蘆原 郁委員長)において, 強力超音波, 骨導超音波, 楽音に含まれる超高周波音など, 超音波が人体に及ぼす影響・評価について, 定量的な指針確立に向けての情報交換の場を提供し, 提言を行う活動を実施した。
- (5) 音と脳科学に関する調査研究  
音と脳科学調査研究委員会(本田 学委員長)において, 人と音と脳の関わりについての調査研究を実施した。
- (6) 熱音響技術に関する調査研究  
熱音響技術調査研究委員会(渡辺好章委員長)において, 既存のエネルギー変換システムが抱える廃熱の利用を目的とする調査研究を実施した。また, 2009 年秋季研究発表会において, 「熱音響現象の理解とその応用展開」をテーマとするスペシャルセッションを実施した。

## 9. 選 奨

- (1) 功 績 賞  
音響に関する学術又は関連事業に対し, 特別の功績があると認められる方に贈られるもので, 第 33 回功績賞受賞者は, 樽松 明, 鈴木英男, 津村尚志, 富川義朗の 4 氏に決定した。なお, 賞の贈呈は通常総会の際に行う。
- (2) 佐藤論文賞  
音響学に関し学術上及び技術上貢献するところが大きい研究業績を本学会誌に発表した方に贈られるもので, 学会誌 64 巻 1 号~12 号, 65 巻 1 号~12 号並びに AST 誌 Vol. 29 No. 1 ~ No. 6, Vol. 30 No. 1 ~ No. 6 に掲載された論文中から優秀な論文を選び, 2010 年春季研究発表会選奨会場(2010 年 3 月 9 日)で本賞を贈呈した。

第 50 回佐藤論文賞受賞論文(敬称略)

○ 齋藤 毅・辻 直也・鶴木祐史・赤木正人(北陸先端科学大学院大学)

「歌声らしさの知覚モデルに基づいた歌声特有の音響特徴量の分析」日本音響学会誌 64 巻 5 号

○ 豊田政弘・高橋大弐（京都大学）

「Prediction for architectural structure-borne sound by the finite-difference time-domain method」Acoustical Science and Technology 誌 30 巻 4 号

(3) 環境音響研究賞

環境音響学の発展に貢献した、主として建築音響分野又は騒音分野に関連する一連の研究を対象とするもので、会員から推薦のあった候補者から優秀な者を選び、2010 年春季研究発表会選奨会場(2010 年 3 月 9 日)で本賞を贈呈した。

第 1 回環境音響研究賞受賞者(敬称略)

○岩瀬 昭雄（新潟大学）

「騒音対策に関わる材料や境界面の音響特性の計測手法の開発とその応用研究」

○坂本 慎一（東京大学）

「建築音響と騒音予測における FDTD 数値解析の応用」

○森本 政之（神戸大学）

「室内音響の心理評価における音の空間印象に関する研究」

(4) 独創研究奨励賞 板倉記念

音声処理に関する独創的な研究を行った若手会員の方に贈られるもので、会員から推薦のあった候補者から優秀な者を選び、2010 年春季研究発表会選奨会場(2010 年 3 月 9 日)で本賞を贈呈した。

第 5 回独創研究奨励賞 板倉記念 受賞者（敬称略）

○戸上 真人（㈱日立製作所）

「非等間隔のマイクペアの組み合わせによる段階的位相差補正を特徴とする近接音源の方向推定方式」

○山岸 順一（エジンバラ大学）

「音声合成の話者適応技術」

(5) 粟屋 潔学術奨励賞

有為と認められる新進の研究・技術者の方に贈られるもので、2009 年春季研究発表会並びに秋季研究発表会の講演者のうちの本賞受賞対象者から優秀な者を選び、2010 年春季研究発表会選奨会場(2010 年 3 月 9 日)で本賞を贈呈した。

第 27 回粟屋 潔学術奨励賞受賞者（敬称略）

ア. 2009 年春季研究発表会

○朝倉 巧(東京大学)

「窓サッシ周辺の隙間を介した音響伝搬に関する数値解析」

○井砂 亮一(東京工業大学)

「光コヒーレンストモグラフィ内視鏡による 3 次元動的イメージング — 光ファイバのたわみ振動を用いた高周波光スキャナ(8) —」

○久保 陽太郎(早稲田大学)

「最小相対エントロピー基準によるパラメタ分布の正則化を用いた連続分布 HMM の識別学習」

イ. 2009 年秋季研究発表会

○小林 知尋(千葉工業大学)

「在来線鉄道列車の騒音放射指向性に関する検討」

○戸上 真人(㈱日立製作所)

「準ブライント非負行列分解を用いたマルチチャンネル非線形エコーキャンセラ」

○森長 誠((財)防衛施設周辺整備協会)

「気象変動を考慮した砲撃音の年間評価」

(6) 技術開発賞

音響に関する工学技術の進歩発展に特に貢献したと認められる本会賛助会員の代表者、賛助会員所属の個人、グループに贈られるもので、公募により推薦された候補の中から優秀なものを選んだ。なお、賞の贈呈は通常総会の際に行う。

第18回技術開発賞受賞者（敬称略）

○NTTコミュニケーション科学基礎研究所／NTTラーニングシステムズ(株)

「スタジオ音声制作用残響制御ソフトウェア（NML RevCon-RR）の開発」

木下慶介，中谷智広（NTTコミュニケーション科学基礎研究所），三好正人（金沢大学），久保田敏之，上谷達（NTTラーニングシステムズ(株)）

○三菱電機(株)

「カーナビ向け超大語彙音声認識技術の開発」

岡登洋平，花沢利行，成田知宏，堀井昭男，藤井洋一，岩崎知弘，竹裏尚嘉（三菱電機(株)）

10. 講習会、講演会及びセミナーの開催

(1) 講習会（敬称略）

事業委員会（坂本慎一委員長）が今年度を実施した講習会及び技術セミナーは以下のとおりである。

ア. 「音源定位と音源分離の基礎」（第105回技術講習会）

期 日；2009年6月18日～19日 会場；全国家電会館

講 師；浅野 太（産業技術総合研究所）

受講者数；47名

イ. 「強力超音波の基礎と応用」（第106回技術講習会）

期 日；2009年7月16日 会場；全国家電会館

講 師；中村健太郎（東京工業大学），渡辺裕二（拓殖大学）

受講者数；37名

ウ. 「新しい道路交通騒音の予測モデル“ASJ RTN-Model 2008”」（第17回音響技術セミナー）

期 日；2009年7月22日 会場；全国家電会館

受講者数；110名

期 日；2009年7月28日 会場；大阪国際会議場

受講者数；75名

講 師；押野康夫（日本自動車研究所），田近輝俊（環境技術研究所），福島昭則（ニューズ環境設計），藤本一寿（九州大学），山本貢平（小林理学研究所），

エ. 「スペクトル解析と情報計測の基礎」（第107回技術講習会）

期 日；2009年7月27日～28日 会場；全国家電会館

講 師；金井 浩（東北大学）

受講者数；20名

オ. 「デジタル信号処理の基礎」（第104回技術講習会）

期 日；2009年11月12日～13日 会場；東京電機大学神田キャンパス

講 師；金田 豊（東京電機大学）

受講者数；34名

(2) サマーセミナー（敬称略）

ア. 「音響学の基礎と最近のトピックス」（第12回サマーセミナー）

期 日；2009年7月30日～8月1日 会場；長野県白馬・シエラリゾート

講 師；荒井隆行（上智大学），及川靖広（早稲田大学），大内康裕（早稲田大学），大川茂樹（千葉工業大学），坂本慎一（東京大学），須田宇宙（千葉工業大学），中村健太郎（東京工業大学），西口磯春（神奈川大学），三井田惇郎（千葉工業大学），山崎芳男（早稲田大学），

受講者数；88名

(3) ビギナーズセミナー（敬称略）

ビギナーズセミナー実行委員会（大川茂樹委員長）で初学者を対象にビギナーズセミナーを開催した。2009年春季研究発表会では，“見て・聞いて・触れて分かる音響現象の基礎”をテーマとして，新人盛会と併催した。2009年秋季研究発表会では，“建築音響の基礎理論”

音を生かす・音を抑える空間のつくり方”，“音楽はなぜ感情に訴えるのか？”の2題の講演で実施した。

1 1. 出版事業

出版委員会（鈴木陽一委員長）に属する3つの編集委員会，音響テクノロジーシリーズ編集委員会（正木信夫委員長），音響入門シリーズ編集委員会（鈴木陽一委員長），音響サイエンスシリーズ編集委員会（岩宮眞一郎委員長）において，それぞれ出版企画，内容を審議した。

1 2. 学会電子化推進に関する活動

電子化推進委員会（伊藤彰則委員長）において，Web を利用した各種会員サービスについて検討した。

1 3. 会勢拡大及び広報に関連する活動

- (1) 会勢拡大委員会（赤木正人委員長）において，会勢の拡大につながる諸策を検討した。
- (2) 広報委員会（宇佐川毅委員長）において，メーリングリストを利用した会員へのメールニュースを送付し，会員への迅速な情報伝達を図った。
- (3) 活性化委員会（尾本章委員長）において，学生フォーラムの活動について検討した。

1 4. 通常総会の開催

- (1) 第43回通常総会  
2009年5月18日，早稲田大学理工学術院において開催した。なお，出席者は，123名（うち委任状による出席82名）であった。

1 5. 理事会，役員会並びに委員会活動

- (1) 理事会  
平成21年度理事会は，2009年4月，2010年2月，3月の3回開催した。
- (2) 役員会  
平成21年度役員会は，2009年8月を除く毎月，計11回開催した。
- (3) 企画委員会  
平成21年度企画委員会（中村健太郎委員長）は，毎月，計11回開催した。
- (4) 編集委員会  
平成21年度編集委員会（正木信夫委員長）は，2009年5月，6月，7月，9月，11月，2010年1月及び3月の計6回開催した。
- (5) 学術委員会  
平成21年度学術委員会（渡辺好章委員長）は，2009年7月，9月，12月，2010年3月の4回開催した。
- (6) 研究発表会準備委員会  
平成21年度研究発表会準備委員会（小澤賢司委員長）は，2009年7月，9月，12月，2010年3月の4回開催した。なお，研究発表会プログラム編成委員会は，7月，12月の2回開催した。
- (7) 国際渉外委員会  
平成21年度国際渉外委員会（山田一郎委員長）は，2010年3月に開催した。
- (8) 一般社団法人移行検討委員会  
平成21年度一般社団法人移行検討委員会（瀧浪弘章委員長）は，2009年11月，12月，2010年2月に開催した。

1 6. 他学協会等からの共催等依頼

区分	件数	摘要
共催	2件	(社)日本機械学会ほか
協賛	33件	(社)計測自動制御学会ほか
後援	3件	(社)日本機械学会ほか



計	38件	
---	-----	--

## 17. 支部所属会員

### (1) 関西支部

会員種別	平成 21 年度			参 考	
	2009. 4. 1 現在数 (A)	2010. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)	2009. 3. 31 現在数 (C)	前年度末 との対比 (B-C)
名誉会員	4	4	0	4	0
終身会員	9	9	0	8	1
正 会 員	559	545	△14	559	△14
学生会員	158	158	0	162	△4

### (2) 東北支部

会員種別	平成 21 年度			参 考	
	2009. 4. 1 現在数 (A)	2010. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)	2009. 3. 31 現在数 (C)	前年度末 との対比 (B-C)
名誉会員	3	3	0	3	0
終身会員	3	3	0	2	1
正 会 員	156	154	△2	158	△4
学生会員	57	41	△16	58	△17

### (3) 東海支部

会員種別	平成 21 年度			参 考	
	2009. 4. 1 現在数 (A)	2010. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)	2009. 3. 31 現在数 (C)	前年度末 との対比 (B-C)
名誉会員	1	1	0	1	0
終身会員	6	6	0	6	0
正 会 員	287	286	△1	285	1
学生会員	70	75	5	70	5

### (4) 九州支部

会員種別	平成 21 年度			参 考	
	2009. 4. 1 現在数 (A)	2010. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)	2009. 3. 31 現在数 (C)	前年度末 との対比 (B-C)
名誉会員	0	0	0	0	0
終身会員	3	3	0	3	0
正 会 員	178	175	△3	178	△3
学生会員	92	63	△29	92	△29

### (5) 北陸支部

会員種別	平成 21 年度			参 考	
	2009. 4. 1 現在数 (A)	2010. 3. 31 現在数 (B)	年度内の増減 (B-A)	2009. 3. 31 現在数 (C)	前年度末 との対比 (B-C)
名誉会員	0	0	0	0	0
終身会員	2	2	0	2	0
正 会 員	65	67	2	62	5
学生会員	38	41	3	39	2

## 18. 支部の事業

### (1) 関 西 支 部

ア. 支部役員会

支部役員会は、2009年4月、7月、10月、12月、2010年1月、3月の6回開催。

イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会	21. 4. 15	大山崎町ふるさとセンター	出席者 167 名(うち委任状 142) / 定足数 121 名
見学会	21. 4. 15	聴竹居(大山崎町)	環境共生住居の見学 参加者 33 名
聴覚研究会	21. 5. 29 ～ 30	同志社大学	発表件数 15 件 参加者 90 名
電気音響研究会	21. 5. 28 ～ 29	兵庫県立大学	発表件数 17 件 参加者 90 名
音楽音響研究会	21. 5. 30 ～ 31	同志社大学びわこリトリートセンター	発表件数 11 件 参加者 35 名
講演会	21. 6. 27	クレオ大阪中央	大串健吾先生による講演, 通崎睦実氏によるマリンバ実演と講演 参加者 45 名
動物音響談話会	21. 8. 3	同志社大学	講演 4 件 参加者 34 名
聴覚研究会	21. 10. 9 ～ 10	加太国民休暇村	発表件数 12 件 参加者 21 名
電気関係学会関西支部連合大会	21. 11. 7 ～ 8	大阪大学	音響関係発表 21 件 ポスター発表 2 件
建築音響研究会	21. 12. 2	京大会館	発表件数 5 件 参加者 19 名
第 12 回若手研究者交流研究発表会	21. 12. 5	関西大学 100 周年記念会館	発表件数 66 件 参加者 124 名
建築音響研究会	22. 1. 20	キャンパスポート大阪	発表件数 5 件 参加者 19 名
電気音響研究会	22. 1. 25 ～ 26	関西大学	発表件数 16 件 参加者 52 名
超音波研究会	22. 1. 25 ～ 26	関西大学	発表件数 24 件 参加者 81 名
見学会・講演会	22. 1. 29	大阪ガス泉北製造所	参加者 14 名
騒音・振動研究会	22. 2. 19	大阪大学	発表件数 5 件 参加者 16 名

(2) 東 北 支 部

ア. 支部役員会

支部役員会は、2010年2月に開催。

イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会	21. 5. 13	東北大学工学部	
第 1040 回学術講演会	21. 5. 13	東北大学工学部	「直流電流遮断の難しさ」 講師 若月 昇 氏(石巻専修大学) 来聴者 250 名
電気音響研究会・聴覚研究会	21. 8. 3 ～ 4	東北大学工学部	
音声研究会	21. 7. 17 ～ 18	福島県飯坂温泉	
電気関係学会東北支部連合大会	21. 8. 20 ～ 21	東北文化学園大学	発表件数 306 件 参加者 582 名 特別講演「持続可能な開発 - 新たなフロンティアに向けて -」 講師: 四ツ橋隆夫 氏(東北大学名)

			誉教授) 来聴者 約100名
騒音・振動研究会	21. 10. 16	東北文化学園大学	
音声研究会	21. 10. 29 ～ 30	青森公立大学	
アコースティックイメージング研究会	21. 12. 11	東北大学工学部	
平成 22 年東北地区若手研究者研究発表会(共催)	22. 2. 26	東北学院大学	「音・光・電波・エネルギー・システムとその応用」
第 1051 回学術講演会	21. 10. 29	東北大学工学部	演題：「パワースペクトル，瞬時周波数，群遅延の可視化と音声・音響処理への応用」 講師 河原英紀 氏 (和歌山大学)

### (3) 東 海 支 部

#### ア. 支部役員会

支部役員会は，2009年3月，12月に開催。

#### イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会	21. 3. 26	名古屋大学	参加者 14 名
騒音・振動研究会	21. 5. 29	名城大学天白キャンパス	参加者 32 名 講演件数 9 件
東海地区音声関連研究室修士論文中間発表会(後援)	21. 8. 3	名古屋工業大学	参加者 143 名 講演件数 49 件
騒音・振動研究会	21. 8. 7	浜松市楽器博物館	参加者 22 名 講演件数 10 件
電気関係学会東海支部連合大会	21. 9. 10 ～ 11	愛知工業大学	一般講演 562 件 (音響部門 14 件) シンポジウム 3 件 チュートリアル 3 件 参加者 1202 名
見学会	21. 10. 31	老子製作所・瑞龍寺 (富山県)	参加者 21 名
聴覚研究会	21. 11. 13 ～ 14	豊橋技術科学大学	参加者 45 名 講演軒数 12 件
支部技術講習会 「音声・歌唱合成の現状と将来」	21. 11. 19	名古屋工業大学	講演 4 件 参加者 162 名
建築音響，騒音・振動関連若手研究発表会及び若手セミナー	21. 11. 25	名城大学名古屋駅サテライト	講演件数 49 件 参加者 41 名，発表会件数 7 件，セミナー 2 件
音声研究会	21. 11. 26 ～ 27	静岡大学	参加者 70 名 講演件数 14 件
2009 年度若手表彰式	21. 12. 16	ルブラ天山	出席者 13 名
専門講習会 (協賛)	22. 1. 27	ローズコートホテル	テーマ「EMC の現状と将来」

### (4) 九 州 支 部

#### ア. 支部役員会

支部役員会は，2010年3月に開催。

#### イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
建築音響研究会	21. 6. 22	別府国際コンベンション	

		ンセンター	
音楽音響研究会	21. 8. 23	鹿児島大学	
電気関係学会九州支部 連合大会	21. 9. 28 ～ 29	九州工業大学	発表総数 717 件(内、音響関係 19 件)
学生のための研究発表 会	21. 11. 29	熊本大学	発表件数 31 件
聴覚研究会	21. 12. 4 ～ 5	熊本大学	
騒音・振動研究会	21. 12. 11	九州大学塩原キャン パス	
聴覚研究会	22. 2. 6 ～ 7	那覇市 IT 創造館	
支部総会	22. 3. 27	九州工業大学戸畑キャ ンパス	出席者 76 名(うち委任状提出者 55 名)
講演会	22. 3. 27	九州工業大学戸畑キャ ンパス	演題「音響的ソフト境界の活用 による騒音制御」 講師 藤原恭司 氏 (九州大 学)

ウ. 学生表彰

九州支部が主催又は共催した研究発表会，研究会における学生の発表を対象として応募者を募り特に優れたものを表彰した。今年度の受賞者は 4 名であった。

(5) 北 陸 支 部

ア. 支部役員会

支部役員会は，2009 年 4 月，9 月，10 月，2010 年 2 月，3 月に開催。

イ. 総会・研究会・連合大会等の事業

事業の内容	開催日	場 所	摘 要 (敬称略)
支部総会	21. 4. 18	地場産業振興センター	出席者 33 名 (うち委任状提出者 6 名)
電気関係学会北陸支部 連合大会	21. 9. 12 ～ 13	北陸先端科学技術大学	音波・音響関係発表 9 件 優秀論文発表賞 2 名 招待講演 1 件
見学会・講演会	21. 11. 27	金沢工業大学感動デザ イン工学研究所	基調講演 1 件 参加者 27 名
北陸地区学生による研 究発表会	22. 3. 6	金沢工業高等専門学校	音波・音響関係発表 11 件
第 2 回音響・超音波ジョ イント研究会	22. 3. 13	金沢工業大学	発表 8 件 参加者 31 名

ウ. 表彰

電気関係学会北陸支部連合大会における発表者のうち，2 名に優秀論文発表賞を贈呈した。